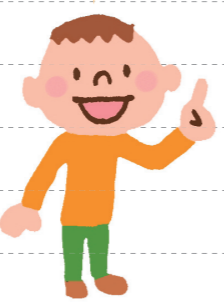


27 高浜地区



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!



今ではたくさんの車が行き交う姫路バイパスの工事で、はるか昔の遺跡が見つかったなんて不思議ですね。『播磨国風土記』について調べてみましょう。



大歳神社(飾磨区上野田)

もとは南条と上野田の守り神だった妙見大明神が明治時代の初めに大歳神社に変わりました。昭和57年(1982)に市川西區画整理事業があり、南条の大歳神社を移転する時に神さまを分けて、平成6年(1994)に上野田大歳神社としてまつりました。



行った日

地蔵堂(飾磨区三宅)

飾磨街道の東にある地蔵堂です。もとは天満神社の境内にありましたが、江戸時代の終わりに今の場所に移されました。地蔵像、五輪塔や塔のかげらが残っています。水輪2個は『太平記』という物語に登場する児島高德の墓といわれていて、児島と高德の文字が残っています。



行った日

順正寺

浄土真宗本願寺派のお寺です。元禄4年(1691)に本願寺派第14代寂如上人から浄土真宗のお寺と認められて、海上山順正寺と名づけたと考えられています。明和3年(1766)に本堂伽藍が建てられました。昭和45年(1970)に建て直されたものが今も残っています。



行った日

松林寺

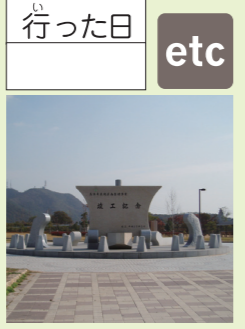
浄土真宗大谷派のお寺です。もとは中島にあった天台系のお寺でした。真宗に変わった後の万治年間(1658~61)にお堂が焼けてしまい、寛文13年(1673)に今の場所に移りました。境内の手洗い石は安政6年(1859)につくられたものです。



行った日

高浜総合公園

戦争が終わってすぐに計画された高浜中央公園が、高浜東區画整理事業によってつくられました。平成11年(1999)にオープンし、平成16年(2004)に今のようになりました。面積は4ヘクタールで、多目的広場やテニスコート、遊具があります。



行った日

etc

- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り・伝統行事
- 美術品
- 伝説芸能など
- 景勝
- 生物・花
- まちなみ
- etc その他



0m 500m 1km

天満神社(飾磨区堀川町)

堀川町の守り神で菅原道真がまつられています。天明期に恵美酒神社から菅原大神を招き、ほこらが建てられたと思われます。大正10年(1921)に社殿を建て直し、昭和7年(1932)に大鳥居が寄付されました。昭和27年(1952)に県から「天満神社」と認められ、平成14年(2002)にはまた大きく建てかえられました。



行った日

天満神社(飾磨区三宅)

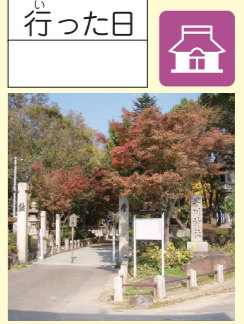
飾磨区亀山と三宅の守り神で、菅原道真がまつられています。『飾磨郡誌』という本には「播磨国風土記」の因達里のイダテの神をまつていたが、後に菅原道真をまつたために元の神さまの名前が消えたのではないかと書かれています。寛政7年(1795)の宮型燈籠が残っています。



行った日

早川神社

速川社ともよばれています。阿成の守り神で兵主神(大己貴命)がまつられています。市川の堤防の上にあり、『播磨国風土記』という本に出てくる倭穴無神の神戸があったところと考えられています。まつられた神さまの名前からこの場所を「アナン」とよび、江戸時代に阿成とよばれるようになりました。



行った日

道しるべ地蔵

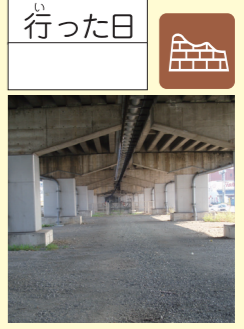
早川神社の東の方、市川堤防の下にあります。安政年間(1854~60)は阿成の渡し場にありましたが、昭和43年(1968)に今のお堂に移したようです。「左かめやま、右ひめじ」という文字と上の方に仏像が彫られています。



行った日

三宅遺跡

『播磨国風土記』という本に書かれている館磨御宅だと考えられています。昭和45年(1970)の姫路バイパス工事で、たくさんの古い瓦や土器などが見つかりました。姫路バイパス姫路南ランプを中心に500m四方の広さであったと考えられますが、ほとんどがなくなってしまいました。



行った日